

造形芸術研究科 カリキュラムマップ

【環境造形専攻】

教育理念・目標					造形芸術研究科は、造形芸術の各分野における高度な専門的能力を養成することを目的としています。その上で、建学の理念に則り、沖縄の伝統芸術の技法的特徴や、それらを生成した歴史的・文化的・風土的特性等にも配慮した高度な実技教育を行うとともに、芸術の普遍性見地から、ひろく東西の美意識に関わる哲学的・美学的・文化的反省に立つ芸術教育を行います。また、沖縄を中心とした南島文化の多様な実態と伝統芸術文化の特色を解明するために、それらを歴史的・理論的に追究する比較芸術学、民族芸術文化学の観点から、汎アジア的広がりにおける東洋芸術文化の学際的な教育を行います。これらの教育活動を通じて、芸術文化に対する深い理解と感性をもち、創造力豊かで、将来の社会における造形芸術分野の幅広い実践活動を担う作家や研究者、芸術教育の専門的指導者となり得る人材の育成を図ります。				
ディプロマ・ポリシー					1. 幅広い視野にたち専門分野における高度な知識と技術を身につけている。		2. 専門分野における高度な研究能力と論理的思考力を身につけている。		3. 専門分野における知識・技術を応用し、社会に発信する能力を身につけている。
年次	履修区分	専修	研究室	授業科目名					
1	必修科目	絵画	油画・日本画	絵画研究Ⅰ	◎		◎	◎	
2				絵画研究Ⅱ	◎		◎	◎	
1		彫刻	彫刻	彫刻研究Ⅰ	◎		◎	◎	
2				彫刻研究Ⅱ	◎		◎	◎	
1	選択科目	専攻共通		論文演習	◎		◎	◎	
			(芸)比較美学研究A	◎		○	○		
			(芸)比較美学研究B	◎		○	○		
			(芸)比較芸術学特殊研究A	◎		○	○		
			(芸)比較芸術学特殊研究B	◎		○	○		
			(芸)日本芸術批評史研究A	◎		○	○		
			(芸)日本芸術批評史研究B	◎		○	○		
			(芸)東洋芸術批評史研究A	◎		○	○		
			(芸)東洋芸術批評史研究B	◎		○	○		
			(芸)西洋芸術批評史研究A	◎		○	○		
			(芸)西洋芸術批評史研究B	◎		○	○		
			(比)民族工芸論研究	◎		○	○		
			(芸)民族芸術文化学研究A	◎		○	○		
			(芸)民族芸術文化学研究B	◎		○	○		
			(芸)日本芸術文化学研究A	◎		○	○		
			(芸)日本芸術文化学研究B	◎		○	○		
			(芸)東洋芸術文化学研究A	◎		○	○		
			(芸)東洋芸術文化学研究B	◎		○	○		
			(芸)民族芸術学特論	◎		○	○		
			(芸)琉球歌謡論研究A	◎		○	○		
			(芸)琉球歌謡論研究B	◎		○	○		
			(芸)比較工芸史研究	◎		○	○		
			(芸)琉球史特論	◎		○	○		
			(デ)装飾様式論	◎		○	○		
			(デ)生活環境デザイン論	◎		○	○		
			(デ)産業デザイン論	◎		○	○		
			(デ)映像論	◎		○	○		
			(デ)舞台美術論	◎		○	○		
			(彫)環境芸術演習	◎		○	○		
			(芸)民族芸術文化史特論	◎		○	○		
			(芸)比較民俗学研究A	◎		○	○		
			(芸)比較民俗学研究B	◎		○	○		
	(芸)東南アジア文化研究A	◎		○	○				
	(芸)東南アジア文化研究B	◎		○	○				
	(比)東洋工芸史研究	◎		○	○				
			造形総合演習	◎		◎	◎		

(注)提供専修等

(芸)比較芸術学専修、(デ)デザイン専修、(彫)彫刻専修、(比)博士課程比較芸術学研究領域